

科技高いきもの記

Vol.5 2020.7.17

佐藤龍平

おしべが3種類もある不思議な花

ツユクサ



夏の朝にのみ可愛らしい花を咲かせるツユクサ

7月10日の朝、正門の横でツユクサが咲いていた。ツユクサといえば、道端に生えているいわゆる「雑草」で、おそらく多くの人を知ってはいるが気にも留めない花だろう。実は以前、雑草に関する本※を読んで「ツユクサのおしべが面白い」という記述を見て、個人的にとっても気になっていた。今年は絶対じっくり観察しようと心に決めていたので、見つけてすぐにバシバシ写真を撮った。ツユクサは朝にしか咲かないので、撮影のタイミングが登校時間とかぶってしまった。(生徒からしたら、校門横で地面にカメラを向けている怪しい人間に見えただろう...)

さて、ツユクサは午後にはしぼんでしまい1日しか咲かないので、英語ではDayflowerと呼ばれているようだ。さっそくその儂い花を観察してみると、本当に奇妙な構造をしている。まず、真ん中にある黄色い花のようなπ字型をしている部分はいったいなんなんだろう？3つもあるし、そのすぐ下にも少し形がちがうY字型の黄色い物体が1つある。実はこれら4つは、元々はおしべだったものが変化したもの。「仮おしべ」と呼ばれていて、とくにπ字型の仮おしべは、おしべなのに花粉は全く作られていないようだ。役割ははっきり分かっていないようだが、通常の花びらと同じように虫などを集める効果があると考えられている。π字型の仮おしべで虫を誘い、Y字型のおしべを虫のお尻にくっつけて花粉を運んでもらっているなんていう説もある。一方、本物のおしべはもっと下まで長く伸びて、めしべのすぐ横に位置している。もちろんこちらは花粉を作る「葯(やく)」がある。

虫に花粉を運んでもらう花を「虫媒花」と呼び、多くの花が虫を呼ぶために様々な工夫をしているが、花弁だけでなくおしべまで進化させるとは.....道端の雑草も侮れない。



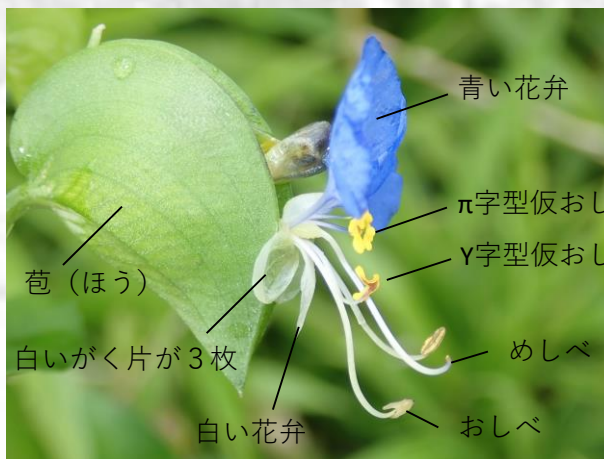
青い花弁

π字型の仮おしべが3つ
花粉はない

Y字型の仮おしべが1つ
花粉は少しある

長いおしべが2つ
花粉はたくさんある

めしべ



青い花弁

π字型仮おしべ

Y字型仮おしべ

めしべ

おしべ

苞(ほう)

白いがく片が3枚

白い花弁

※「そんなふう生きていたのね
まちの植物のせかい」(鈴木純著
/雷鳥社)
道端の植物の見方が変わるオス
メの本です。→



仮おしべの拡大